



## 「プラス思考で前向きに」

ポジティブ部※主任 小林 朗子

私たちは、何かしら好きなことや得意なことがあり、苦手なこともあります。また、同じ出来事や状況でもそれぞれで感じ方が違います。それは、脳の働きが一人一人違い、これまでの経験や育った家庭環境も違うからです。つまり、松野尾小学校の85人には、85人それぞれの違い（個々の特性）があるということになります。似ているところがある一方で、それぞれ違うからこそ、学校という場所でかわる意味や学びがあると考えます。

今年度も大切にしたい柱の一つ「主体性」＝「自ら判断し、行動する」ことができるように、まずその土台として、学校や学級が安心・安全で過ごせる場ではないと考えます。そこで、前年度より継続して、教職員は教室環境や言語環境を整えています。そして、プラス思考で前向きな子どもたちを育てるために、行事や日々の活動の中で、なりたい自分や、めざす姿をもたせることが大切だと考え、適宜働きかけています。また、思ったこと、感じたこと全てを言葉や行動で直接的に表現するのは配慮が必要だと伝えています。「楽しい」「嬉しい」「めんどくさい」「やりたくない」など、様々な感情があります。心で何を思ってもその人の自由です。自分の気持ちや言いたいことを全否定する必要はなく、たとえマイナス感情であっても、「自分はこんな気持ちでいるんだ」と気付くこと（認知）は大切です。

しかし、人をけなす言葉、否定する言葉を口に出した場合、言われた本人はもちろん、周囲の人にとっても耳にするだけで不快になります。また、「えーやりたくない」「めんどくさい」などの言葉は、がんばろうとしている人たちのやる気をそぐとともに、言った自分自身も声に出すことで、脳はその言葉が正しいと受け止めます。つまり、マイナス思考がそのままマイナス行動につながってしまうのです。子どもたちが口に出す言葉は、「ありがとう」「大丈夫」「まあいっか」「でも、がんばる！」「やってみよう」などの前向きな言葉（プラス思考）にしていきたいです。そして、それらを言葉にし、口に出すことで、行動も変えることができるはずです。

落ちたお菓子を3秒以内なら大丈夫と、ふうふうして食べたことはありませんか。春先に6年生担任が、子どもたちに『ありがとう』と『ごめんね』は、3秒以内だよ』とよく伝えていました。『ありがとう』も『ごめんね』もすぐその場で伝えることが大切ということです。この一言のおかげで絆や信頼が深まる一方、この一言がないために相手とのすれ違いや誤解が生まれることもあります。6年生の取組を聞き、「3秒ルール」という合言葉ですぐ取り組んだ学級もありました。マイナス感情が生まれても、3秒以内にプラス言葉を口にする実践を全校に広めていきます。

6月9日の全校弥彦登山では、疲れたところに聞こえてくる「ヤッホー」の元気な声。下学年を気遣う「大丈夫？」「ここすべるから気を付けてね」の優しい6年生の言葉。「疲れた」「もう無理」の言葉に、「がんばろう」「もう少しで〇合目だよ」と励ます声。そんな子どもたちを頼もしく誇らしく思いながら、どの子も毎日を笑顔で幸せに過ごしてほしいと願っています。子どもたちがプラス思考で前向きに取り組めるよう職員一丸となって、これからもかかわっていきます！



# 全校弥彦登山 (6/7)



総勢22名のボランティアさんの力を借り、5年ぶりの全校登山を無事に終えることができました。下学年にとっては体力的につらい部分もあったと思いますが、上学年がうまくリードし、優しく励ますことで、なかよし班のみんなで登ることができました。普段ならあきらめてしまうような苦しいことを乗り越えられた経験は自信につながるはずです。登山に向けて支えていただいたご家族やボランティアの皆様、大変ありがとうございました。

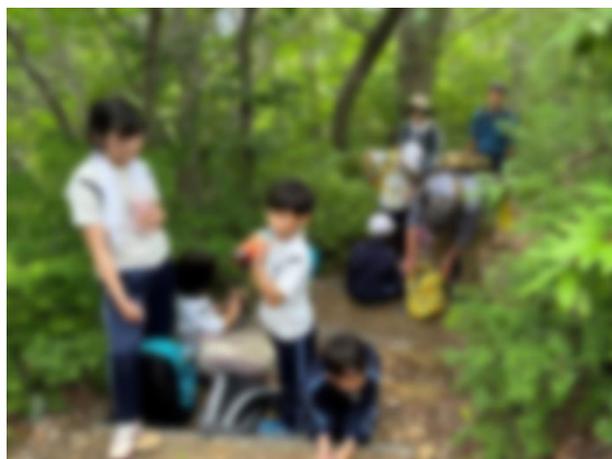
足がつかれてはいたけど、9ごう目まで一生けんめいのぼりました。はんのみんなといっしょだったから、のぼることができました。と中、のぼれないと思ったけど、先生ににもつをもってもらったので、がんばれました。ちょう上でおべんとうを食べて、とてもおいしかったです。

2年 Aさん



登山は想どうより大へんでした。階段を登りつづけるのは苦しかったです。でも、はん長さんが、「がんばろう!」と言ってくれたので、さい後まであきらめずに登ることができました。ちょう上では、フィールドワークをしました。自ぜんゆたかなやひこ山のことをたくさん知ることができて、よかったです。

4年 Oさん



ぼくは、小学校で2回目の登山でした。1合目に行くまでがとても長く感じたけれど、6~9合目は短く感じました。班のみんなで協力して声をかけながら、がんばって登りました。9合目から見た景色は、すごくきれいでした。遊びでも仲良くなって、達成感を感じた登山になりました。

6年 Tさん



登山で大変だったことは、1年生から5年生の様子を見ながら、休けいや補水をするタイミングを見つけることです。そして、1年生の荷物を持ったり、低学年の子のペースに合わせてたりして、山を登ったことです。みんな楽しく登れて良かったです。いい思い出になりました。

6年 Sさん



やひこやまのちょうじょうまでいきました。たいへんだったけど、6ねんせいがあぶないときにおしえてくれました。5ねんせいは、「もうすこしだよ。」といってくれました。なかよしはんのみんなで行ったやひこやまは、とてもたのしかったです。 1年 Yさん



はんのみんなでお話しながらのぼりました。みんなが、がんばったと思います。つかれたけど、ちょうじょうで食べたおべんとうがさい高でした。やひこ山の9合目のけしきは、さい高だったから、それより上はもっとさい高なんだなと思いました。 3年 Nさん

全校弥彦登山で学んだことは、なかよし班で協力すると楽しいということです。なかよし班のみんながつかれたときに、ぼくは声をかけました。そうすると、ぼくがつかれたときにもみんなが声をかけてくれたので、うれしかったです。来年は6年生なので、みんなを引っばっていけるようがんばりたいです。 5年 Yさん



### <ボランティアに参加いただいた皆様より>

- ・弱音をはいている子も中にはいましたが、上級生を中心に声を掛け合って、みんなで目標達成に向け頑張っている姿はとても良かったと思います。基本みんな楽しそうな様子で登っていましたし、登頂後は充実した表情が多く見られました。
- ・細かく休憩を上手にとりながら登っていました。「あと、少しで休憩だよ」とか「あそこまで登ろう」と声をかけていました。見晴らしのよい場所ではキラキラした目で遠くを眺めたりしていました。
- ・コロナ明けで子どもたちの体力を心配していましたが、互い声を掛け合って助け合って無事に登山できてよかったです。
- ・下学年の子はがんばって登り、高学年の子は下の子たちの面倒をしっかりとみながら登っていてとても良かったです!!松野尾の子たちは普段から仲がいいのか班長さんだけではなく全員が声をかけ合い、励ましあい登っていたのが印象的でした。

※他にもたくさんのご感想・ご意見をいただきました。来年度以降の行事に活かしていきます。ありがとうございました。

# 1年「いくとびあ」(5/30)



ともだちときょうりよくして、ガーデンビンゴをしました。ビンゴがそろったのが、うれしかったです。アルパカにもカピバラにもあえました。ヤギがもぐもぐえさを食べるのがおもしろくて、かわいかったです。

1年 Iさん

しょうがっこうのともだちと、はじめていきました。みんなでおべんとうをたべて、たくさんあそびました。かぞくともいったことがあったけれど、ともだちといったいくとびあは、とてもたのしかったです。

1年 Sさん

## 7月の主な行事予定

1日(月) 全校朝会 委員会 諸校費振替日  
3日(水) Well-Being Day (水4の日) 下校 13:15  
4日(木) 3年生校外学習「福島潟」  
5日(金) なかよしタイム スクールカウンセラー相談日  
9日(火) 5年生自然体験教室1日目【ゆいぽーと】  
10日(水) Well-Being Day (水4の日) 下校 13:15  
5年生自然体験教室2日目【ゆいぽーと】

11日(木) 生活アンケート 5年生下校 14:25  
12日(金) 第2回通学班会議 (通常下校)  
17日(水) 学習参観・引き渡し訓練  
19日(金) 給食最終日 5時間授業 下校 14:25  
24日(水) 陸上競技記録会 (西地区大会)  
26日(金) 陸上競技記録会 東・西地区共通予備日  
29日(月) 陸上競技記録会 東・西地区共通予備日

※次回の諸校費振替日は、9/2(月)です。